

第2回 企画審査委員会 概要

○日時：令和2年8月13日（木）9:15～13:45

○場所：食料産業局会議室

○議事内容：

【食事券発行委託事業】

<食事券発行委託事業についての審議>

同一地域から一つの提案があった各地域（岩手県、秋田県、千葉県、長野県、山梨県、静岡県、愛知県、三重県、石川県、福井県、京都府、奈良県、大阪府、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、佐賀県、大分県、宮崎県、鹿児島県）の提案について、第1回企画審査委員会における各審査委員による採点の結果を踏まえ、それぞれの提案が採択候補として決定された。

【オンライン飲食予約委託事業】

<オンライン飲食予約委託事業の企画提案書の説明等>

事務局から各委員に対して、提出があった18件のオンライン飲食予約委託事業に係る企画提案書のうち、委託費の上限を超える5件の提案については採点の必要がない旨説明。

また、13件の提案の給付金の目標額及び委託費の計上額を集計したところ、どちらも予定していた予算額に達していないため、各採点項目で不可とならなければ提案を採択できる見込みであることを説明。

<オンライン飲食予約委託事業についての採点>

各委員が、提案者からのヒアリングを踏まえて、企画提案書ごとに評価基準の配点の範囲内で評価を付した。

<Aのヒアリング概要>

Aから提案内容についての説明を聴取するとともに、質疑応答においては、委員より、主に以下の点について確認等を行った。

- 株主の構成
- どのシステムベンダーからポイントシステムのプログラムの提供を受けるのか
- 企画提案書において委託費が少ないように見えるため、自社事業とのタイアップ効果を含めた上での算定かどうか
- 登録飲食店の選定方法
- 不正防止対策についての体制整備

- 送客手数料は取るのか 等

<Bのヒアリング概要>

Bから提案内容についての説明を聴取するとともに、質疑応答においては、委員より、主に以下の点について確認等を行った。

- Bが運営する予約サイトにおける都市部と地方部の掲載店舗の割合
- 現在Bが運営する予約サイトを利用していない消費者へのキャンペーンの告知・アプローチの方法
- 登録飲食店に対して感染防止対策への具体的なアドバイスをするのか
- B運営予約サイトにおいて感染防止対策についての口コミの投稿が多くあるのかどうかについて 等

<Cのヒアリング概要>

Cから提案内容についての説明を聴取するとともに、質疑応答においては、委員より、主に以下の点について確認等を行った。

- 企画提案書におけるポイント付与の目標値について、ディナーよりランチのほうが高い比率になっていることについて
- ポイントの集計方法
- 事業の実施によるC社ビジネスへの波及効果
- 企画提案書において委託費が計上されていないことについて
- 今後、C運営の予約サイトを幅広く利用してもらうための方策
- 現在運営するコールセンターに対する問合せ状況
- 登録飲食店における感染予防対策の現状とその取組状況の調査方法
- 口コミ投稿から感染防止対策についての取組情報を収集しているのか 等

<Dのヒアリング概要>

Dから提案内容についての説明を聴取するとともに、質疑応答においては、委員より、主に以下の点について確認等を行った。

- 企画提案書にパートナーシップとして記載のある他社予約サイトも提案していることを踏まえ、Dが運営する予約サイトとどちらに登録してもらうように考えているか
- 予約サイトを通じた予約により飲食店から手数料を取っているのかどうか
- インバウンドについても対応しているようだが現状はどうなっているか
- 衛生面での取組を行っている店舗を優先的に支援していくのかどうか
- 現状のコールセンターの体制
- ユーザーのうち30～40代の層は、感染防止対策を踏まえて慎重な来店行動を取るのではないかとこの予想に対する考え 等

<Eのヒアリング概要>

Eから提案内容についての説明を聴取するとともに、質疑応答においては、委員より、主に以下の点について確認等を行った。

- 従来提供してきたインバウンド向けサービスと比較して、国内向けサービスを提供する上で何が一番課題となっているか
- Eが運営する予約サイトにおける登録飲食店の他のグルメサイトへの登録状況
- 新規加盟促進の具体策
- E運営予約サイトの知名度アップのための方策
- E運営予約サイトの利用時の手数料
- 検討する感染防止対策
- コロナウイルス感染者が急増して急にキャンセルが発生した場合の料金の支払い
- 引き続き在日外国人がE運営予約サイトを利用し続けるかどうかについて
- Go To Eat キャンペーン終了後にポイント事業から撤退するのかどうか 等

<Fのヒアリング概要>

Fから提案内容についての説明を聴取するとともに、質疑応答においては、委員より、主に以下の点について確認等を行った。

- Fが運営する予約サイトにおける登録飲食店についての他の予約サイトへの登録状況
- F運営予約サイトにおいて飲食店から月額固定料は取っているかどうか
- 検討する感染防止対策
- 企画提案書に委託費が計上されていないことについて
- 地域に合わせて予約を制限することの可否
- F運営予約サイトにおいて、飲食店従業員に急遽体調不良者が発生し臨時休業となった場合等についての情報を逐一発信できるのか 等

<Gのヒアリング概要>

Gから提案内容についての説明を聴取するとともに、質疑応答においては、委員より、主に以下の点について確認等を行った。

- 飲食店や消費者に対するGが運営する予約サイトの売り込み方法
- 現状のコールセンターの体制
- 現在無料開放されているG運営予約サイトについて、Go To Eat キャンペーン終了後も継続して登録飲食店から固定費を取らない考えか
- 感染防止対策についての情報をどのように発信していくか 等

<Hのヒアリング概要>

Hから提案内容についての説明を聴取するとともに、質疑応答においては、委員よ

り、主に以下の点について確認等を行った。

- 他の提案者との協調領域
- Hが運営する予約サイトの強みをどのように消費者に対して発信していくのか
- 各飲食店の具体的な感染防止対策の取組を見える化していくことは考えているか
- 商店街等の単位で飲食店の活性化に取り組む際にH運営予約サイトとして支援することが可能かどうか 等

<Iのヒアリング概要>

Iから提案内容についての説明を聴取するとともに、質疑応答においては、委員より、主に以下の点について確認等を行った。

- Iが運営する予約サイトについて、他の予約サイトと比較した場合の特徴
- 現状のコールセンターの体制
- 営業担当が実際に店舗を訪問しているのかどうか
- 新規加盟促進の具体策
- I運営予約サイトの登録飲食店における客単価
- Go To Eat キャンペーンで付与されるポイントが誘客につながるかどうか 等

<Jのヒアリング概要>

Jから提案内容についての説明を聴取するとともに、質疑応答においては、委員より、主に以下の点について確認等を行った。

- Go To Eat キャンペーンで付与されるポイントと従来Jが運営する予約サイトにおいて付与しているポイントの区別、管理方法
- J運営予約サイトについて、他の予約サイトと比較した場合の特徴
- 企画提案書における委託費の内訳とメディア費の具体的内容
- J運営予約サイトの登録飲食店に対するシステムのレクチャーの有無
- 営業部隊の規模と感染防止対策の確認方法 等

<Kのヒアリング概要>

Kから提案内容についての説明を聴取するとともに、質疑応答においては、委員より、主に以下の点について確認等を行った。

- Kが運営する予約サイトについて、他の予約サイトと比較した場合の特徴
- K運営予約サイトの運営主体
- Go To Eat キャンペーンにおいて、既存の予約サイトのシステムを活用するかどうか
- 検討する感染防止対策 等

<Lのヒアリング概要>

L から提案内容についての説明を聴取するとともに、質疑応答においては、委員より、主に以下の点について確認等を行った。

- L が運営する予約サイトについて、他の予約サイトと比較した場合の特徴
- 感染防止対策の確認方法
- ポイント利用時の処理方法
- 企画提案書におけるサイト構築等の事業費の具体的使途
- Go To Eat キャンペーンにより付与されるポイントがどの程度消費者に対する外食促進のインセンティブになると考えているか
- 新規加盟促進の具体策 等

<M のヒアリング概要>

M から提案内容についての説明を聴取するとともに、質疑応答においては、委員より、主に以下の点について確認等を行った。

- 実施体制について
- 無料で提供するシステムの提案となっているが、どのように収益を上げているのかについて 等

—以上—